

**令和4年度第2回久留米広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会全体会
議事録**

(1) 日 時：令和5年2月8日（水）14:00～16:00

(2) 会 場：久留米シティプラザ大会議室

(3) 出席者：

＜委員＞

世利洋介委員（座長）、穴見英三委員（副座長）、中村正寛委員、實藤俊彦委員、
益村千夏委員、赤尾哲之委員、石橋和典委員、古賀亮史委員、首藤有一委員、
藤田達哉委員、岡村亮委員、吉岡マサヨ委員、野口裕子委員、眞子佳子委員、
山崎享一委員、野口厚委員、岡本卓也委員、高木一希委員、
木部匡之（中島佳奈美委員代理）

＜事務局＞

久留米市総合政策部 松野総合政策部長、今田広域行政担当参与
総合政策課 中村主幹、仁田原主査、権藤主任主事

＜構成市町＞

うきは市企画財政課 山崎課長、大刀洗町地域振興課 矢ヶ部主事

＜ワーキンググループ職員＞

※ワーキンググループは、以下WGと表記

(4) 欠席者：

緒方博子委員、倉掛かおり委員、吉田憲和委員

(5) 次第及び議事：

1. 開会	
2. 久留米広域連携中枢都市圏事業について	
(1) 令和4年度事業進捗状況について	
(2) 令和5年度事業実施案について	
事務局	[令和4年度事業進捗状況及び令和5年度事業実施案について一括説明]
座長	まず、「圏域全体の経済成長のけん引」分野について委員の皆様の意見・質問をいただきたい。 「観光サイクル事業」のR4年度事業進捗の「検討していく」や「取り組む」は計画レベルの表現、もう少し実績を明示してほしい。 「魅力ある観光商品づくり事業」のR4年度事業進捗の「圏域の商品をラインナップし」という表現も分かりにくい。もう少し具体的な実績を明示ほしい。また、このまち旅プログラムではアンケートは実施しているのか。実施しているなら、その結果を令和5年度事業実施案に反映しているのか。

<p>広域観光・MICE WG</p>	<p>「観光サイクル事業」については、久留米・うきはルートの情報発信に努めているところで、具体的な連携事業について検討中である。サイクルロゲイニングについては、イベントを3月に計画している。</p> <p>「魅力ある観光商品づくり事業」については、コロナ禍でメニュー数を絞り、期間を限定せず実施した。うきは市は、「春のブーケレッスン」を3月に実施予定である。大川市は、「組子体験」で12名が参加、大木町は、「ヒシの収穫体験」で5名の参加があっている。アンケートの内容を見ると、概ね好評であった。ただ参加費が安価であり、実施者の負担が発生している状況であるため、令和5年度以降はペイできる料金体系で実施する方向で考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>まち旅博覧会は、多くのメニューがあるが、それぞれのメニューがどのような層にニーズがあるのか興味がある。申込時に年齢、性別等の記載をお願いされていると思うが、できるならば情報共有をお願いしたい。プログラム作成時に参考としたい。</p> <p>細かい部分ではあるが、「知ったきっかけ」欄の回答は、文章入力になっているが、選択方式にした方が良いと思う。</p>
<p>広域観光・MICE WG</p>	<p>プログラムによって異なるが、参加者は総じて高齢の女性が多い。アンケートの取り方については、まち旅の実行委員会と共有する。</p>
<p>委員</p>	<p>「新規就農支援事業」について伺います。農業関係の女性は、仕事の内容から孤独になりやすい。大木町でも農業委員を中心に、新規就農者の女性が集う時間を設けたりしている。当事業においては、実施場所の巡回や対象者の絞り込みなど、効果をあげるための手立てを何か考えてあるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>本日、担当のワーキンググループの職員が出席できていないため、後日確認のうえ、回答いたしたい。</p>
<p>委員</p>	<p>多くの方が参加できる仕組みを考えてほしい。</p> <p>「広域観光連携推進事業」の社会科見学ルートの開発検討について、詳しく聞きたい。</p>
<p>広域観光・MICE WG</p>	<p>修学旅行や社会科見学では、平和、歴史、文化、体験及び工場見学などの関心が高いと認識している。現在、資生堂工場や大刀洗飛行場などを活用したモデルルートを検討している段階である。</p>
<p>委員</p>	<p>大木町の環境プラザなども、ぜひルートに入れて進めてほしい。</p>

座長	次に、「高次の都市機能の集積・強化」分野について委員の皆様の意見・質問をいただきたい。
委員	「診療情報共有化事業」について、医療連携は重要であるが、医療機関同士の情報を繋ぐアザレアネットは、登録患者や医療機関が増えていかないと本当の活用に至らない。医療機関はコロナ禍で苦勞しており、5月に2類から5類に変わるが、コロナの感染力が弱まるわけではない。引き続き色々な対策を講じていかないといけないと考えている。 質問だが、事業目的の欄に「佐賀県及び八女筑後地域とも連携」とあるが、令和4、5年度にどう具体的に展開していくのか。
医療 WG	アザレアネットは、基本的には大病院が持っている情報を診療所等でも見られるというネットワークであるが、コロナ禍で医療機関の登録数を増やすためのセミナー開催等の活動が出来ていない。アザレアネットそのものは、久留米広域のネットワークだが、同じようなネットワークが八女筑後や佐賀にあり、それらと連携していく。
委員	「文化芸術アウトリーチ事業」において、今年度、2分程のプロモーション動画を制作した。また、石橋正二郎、青木繁、坂本繁二郎に関する8分程の小中学生向けの動画も制作し、ユーチューブにアップしている。今後、ほかの市町村の皆様にもご活用いただければと思っている。
座長	最後に、「生活関連機能サービスの向上」分野について委員の皆様の意見・質問をいただきたい。
委員	「市民活動活性化事業」の市民活動に関する情報共有について、私共も地域ボランティアを募集しているため、各市町の担い手がどこにいるのか分かるのは良い。今後はどこに聞けば良いのか。すでに窓口があるのか教えてほしい。 「外国人が暮らしやすい圏域づくり事業」に関連するが、以前、タブレットを窓口に配架されると聞いていたが、どこに配架されたのか。私共のセンターにはないので、貸していただけるのか教えてほしい。
事務局	久留米市が把握している市民活動団体は、376団体である。今後、みんくるの広域利用を進めることで増えると思うが、把握した市民活動団体の情報をどのように活用していくかについては、後日確認のうえ、改めて回答したい。
外国人生活支援 WG	申し訳ないが、タブレットの件については把握できていない。

座長	本日、情報として足りない分については、後日、事務局からフォローをお願いする。ここで、全体を通じて委員の皆様の意見・質問をいただきたい。
委員	「地元企業採用支援事業」について、令和4年度事業計画と令和5年度事業実施案の内容があまり変わっていない。これは令和4年度実績の内定者3名で良しという認識なのか。費用対効果が気になる。
事務局	事業実施案には記載していないが、ワーキンググループでは、当事業の課題のひとつは、まだまだ参加者数が少ないことと認識している。参加者数が増えることで就職に結びつく数も増えると考えており、その辺りを工夫して実施していくと伺っている。
副座長	連携事業ごとの事務局をどこが担っているのか、はっきり示してほしい。そうしないと我々は分からない。
事務局	連携中枢都市圏推進協議会及びビジョン懇談会の事務局は総合政策課が担っている。事業を実施しているのは各担当課であり、横の連携でワーキンググループを立ち上げている。問い合わせ等は、総合政策課を窓口として受け、担当課等に確認して対応していきたいと考えている。
副座長	久留米市では、全ての連携事業の事務局が総合政策課なのか。圏域市町は事務局になってないのか。例えば、病児保育事業の事務局はどこなのか。その辺をはっきりしておかないと事業は進まない。
事務局	各事業については、各ワーキンググループで事業を実施しており、リーダーを久留米市の担当部局が担っている。
副座長	それでは、ワーキンググループの事務局を教えてください。各ワーキンググループがどういう事業を実施しているのか、その辺りの仕組みから我々は知らないのではないかと思う。
事務局	連携中枢都市圏事業では、推進協議会を立ち上げ、その中に幹事会、調整部会、実働部隊として16のワーキンググループを設置している。総合的な窓口は、久留米市の総合政策課。調整部会には、各市町の主に企画部門の課長が部会委員となっており、それぞれの市町の総合窓口的な役割を担っている。各事業については、ワーキングリーダーである久留米市の担当課が全体的に集約しており、それを取りまとめて対外的に情報発信するのが総合政策課である。このような組織体で進めている連携事業について、様々な視点からご意見をいただく場がビジョン懇談会であり、こちらの事務局も久留米市の総合政策課で担当している。

座長	<p>資料の5ページの関係図に、ビジョン懇談会の役割や推進協議会の推進組織が示されており、新たに「市民活動活性化」を加えた16のワーキンググループがある。もし腑に落ちないところがあれば、会議後に話をされてみてはどうか。</p> <p>それでは、公共交通機関の視点からの意見をいただきたい。</p>
委員	<p>最近、福岡ではインバウンドがかなり戻ってきている。しかし、太宰府止まりで久留米をスルーして柳川に流れている形だ。もう少し久留米方面へのインバウンドの引き込みに力を入れられたらどうか。サイクル分野も海外の方には、ニーズが高い。</p>
座長	<p>地域振興の視点からの意見をいただきたい。</p>
委員	<p>「首都圏等における情報発信事業」に関連して、1月26日に麴町に福岡県のアンテナレストランがリニューアルオープンしており、県南の特産品の展示販売や県産品を使った食事を提供している。東京でPR等される際に、是非この場を使ってほしい。ポスター等を掲示すれば、久留米広域の情報等にもアクセスしてもらえと思う。</p> <p>サイクルツーリズムについて、今年の10月にツールド九州が開催され、世界中のサイクルファンが見えられる。このイベントを契機に取組を進められたらどうか。また、令和6年度のJRディスティネーションキャンペーンに向けて、県の観光部門とも情報共有しながら、様々な素材、PRできるものを準備すれば、日本中にPRできる。そういったところを、令和5年度に強化したら良いのではないか。</p>
座長	<p>雇用確保の視点からの意見をいただきたい。</p>
委員	<p>「外国人が暮らしやすい圏域づくり事業」の関連だが、ハローワークにも外国人の方が多数、職業相談に見えられている。地場の事業主が外国人を雇用してくれるかがポイントで、言葉の壁や生活環境の違いがネックとなって、紹介に至っても採用に至らない事案が多数ある。また、一般の職業相談では、若年者は物凄く減少し、高齢者は相当数増加している。そのため、なかなか採用に至らない。久留米管内では、有効求人倍率は1倍を超えているが、職業相談、紹介、就職件数は下がっていているのが現状である。対策を求められているが、一般の求職者を呼び込むことができていない。我々も苦慮している。</p>

3. 第2期久留米広域連携中枢都市圏ビジョンの改訂について	
事務局	[第2期久留米広域連携中枢都市圏ビジョンの改訂について説明] (質問・意見は特になし)
4. その他	
座長	その他、事務局からあるか。
事務局	(次回の久留米広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会の開催時期について報告)
座長	事務局には、本日、十分な回答できなかった点についてフォローをお願いする。また、委員の皆様の見解を参考に、ぜひ今後に活かしてほしい。委員の皆様で、追加の意見等あれば事務局に連絡をお願いする。
5. 閉会	